

STEP 1

A～Gの中から、
作るポーチの形を決め、
材料を準備する

A B は、ポケットの有無についても決める
* 説明書3面(2枚目・表)
STEP5「ABCの作り方」参照

STEP 2

表布に接着芯を貼る
※ E G は裏布にも貼る

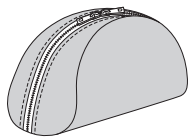
表布の裏面と接着芯の接着面を合わせ、
上から押さえるようにアイロンをあてる。
(ドライ・約10秒)

★ 接着芯に霧吹きをする
と、熱が伝わりやすく、
接着しやすくなります



ポーチのカタチ

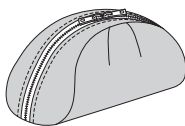
A スタンダード



タテ ヨコ マチ
10×17×8cm

※ イラストは両開きファスナーを使用した例

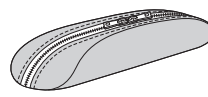
B タック付



タテ ヨコ マチ
7.5×17×8cm

※ イラストは両開きファスナーを使用した例

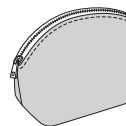
C ロング



タテ ヨコ マチ
4×21×8cm

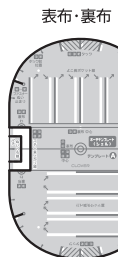
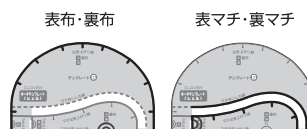
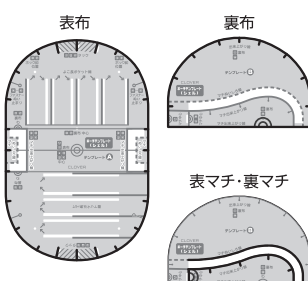
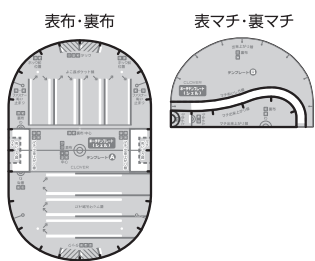
※ イラストは両開きファスナーを使用した例

D シングル

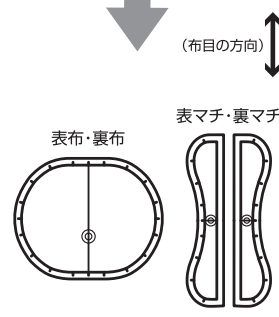
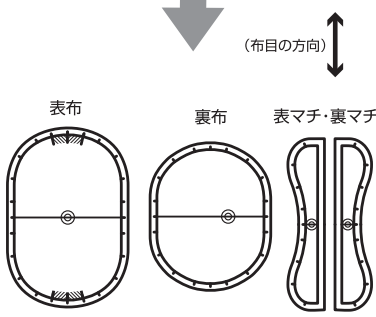
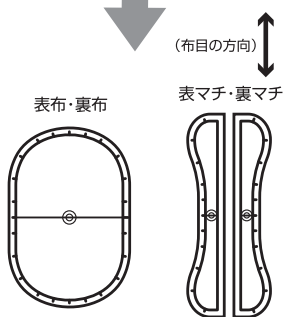


タテ ヨコ マチ
10×16×5cm

テンプレートの使用箇所



型 (パターン)



材

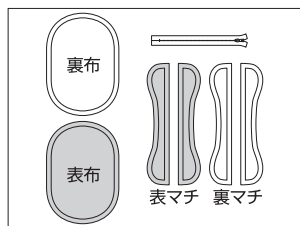
- 表布
 - 表布用接着芯
 - 裏布
 - 表マチ
 - 表マチ用接着芯
 - 裏マチ
 - よこ長ポケット 7.5×25cm
 - たて長ポケット 11×20cm
 - ファスナー 30cm
- (両開きタイプがおすすめ)

- 表布
 - 表布用接着芯
 - 裏布
 - 表マチ
 - 表マチ用接着芯
 - 裏マチ
 - たて長ポケット 11×20cm
 - ファスナー 25cm
- (両開きタイプがおすすめ)

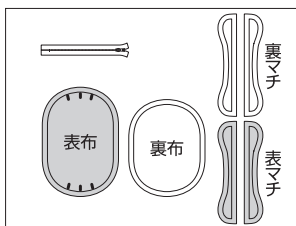
- 表布
 - 表布用接着芯
 - 裏布
 - 表マチ
 - 表マチ用接着芯
 - 裏マチ
 - ファスナー 25cm
- (両開きタイプがおすすめ)

- 表布
- 表布用接着芯
- 裏布
- ファスナー 20cm

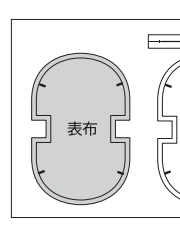
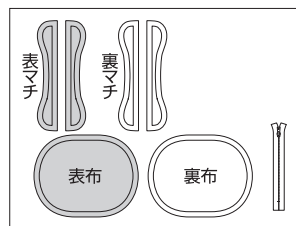
料



※ ポケットは省略



※ ポケットは省略



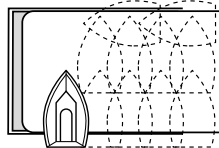
1 TEMPLATE SHELL

※この説明書は、製品とともに保管し、ご使用の際にはよくお読みください。

1面

布または
コンペーパーか
ロン紙

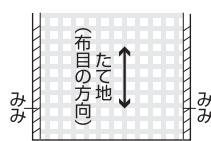
アイロンはすべ
らずに持ち上げ、
すき間をあけな
いように移動させ
ながらあてる。



※アイロンの温度は、
布地や接着芯の適
正温度に準じて設
定してください

● 布目の方向 ●

みみ（布幅の両端）を
左右に見て、縦の方向
をたて地と言い、布目
の方向になります。



たて地は伸びにくい
性質があるので、布
目を通すと、型くずれ
しにくくなります。

★柄生地の場合、見せたい柄
の方向に合わせて、布地を
裁断してもかまいません

D シングル	E ダブル	F タック付シングル	G タック付ダブル
<p>タテ ヨコ マチ 10×16×5cm</p>	<p>タテ ヨコ マチ 10×16×5cm</p>	<p>タテ ヨコ マチ 8.5×12×5cm</p>	<p>タテ ヨコ マチ 8.5×12×5cm</p>
<p>表布・裏布</p> <p>(布目の方向) ↓</p>	<p>表布 裏布</p> <p>(布目の方向) ↓</p>	<p>表布・裏布</p> <p>(布目の方向) ↓</p>	<p>表布 裏布</p> <p>(布目の方向) ↓</p>
<p>表布 表布用接着芯 裏布 ファスナー</p> <p>各 30×21cm 20cm</p>	<p>●表布 ●表布用接着芯 ●裏布 ●裏布用接着芯 ●ファスナー ●ホック釦</p> <p>各 30×21cm 各 25×21cm 20cm 2本 2組</p>	<p>●表布 ●表布用接着芯 ●裏布 ●ファスナー</p> <p>各 30×21cm 15cm</p>	<p>●表布 ●表布用接着芯 ●裏布 ●裏布用接着芯 ●ファスナー ●ホック釦</p> <p>各 30×21cm 各 25×21cm 15cm 2本 2組</p>

※布地の用尺には実際に使用する大きさの四方に1cmの余尺を設けています。

100702

STEP 3

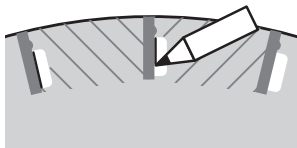
選んだポーチの「テンプレートの使用箇所」に沿って印つけをする

STEP 4

縫いしろ線に沿って布地を裁断する

溝の印つけ

溝の印がついている側をなぞる。



- ✕ 印がない側をなぞる。
- ✕ 溝の中心に印をつける。
- ✕ 溝全体に印をつける。

丸穴の印つけ

中心に印をつける。



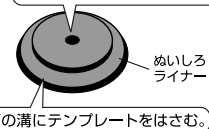
合印の印つけ

延長線上に印をつける。

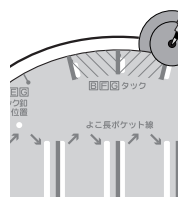
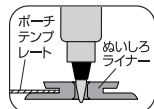


縫いしろの描き方

クロバー「水性チャコペン」「布用シャープペンシル」などのペン先を入れ、テンプレートに沿って転がすように縫いしろを描く。



テンプレートの線に付属の「ぬいしろライナー」をセットする。



A



表布・裏布

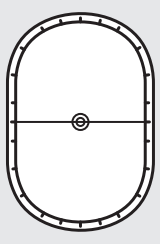
B



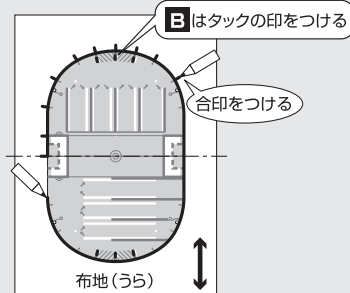
表布

テンプレートAを使用

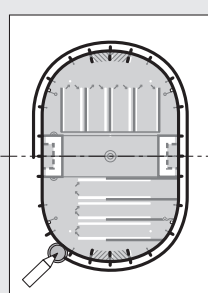
各1枚



※表布には接着芯を貼っておきます



1. テンプレートAの線に沿って出来上がり線を描く。マチとの合印(紫色の印)をつける。



2. 「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。

A



表マチ・裏マチ

テンプレートBを使用

各2枚



※表マチには接着芯を貼っておきます



1. テンプレートBの「マチ出来上り線」に沿って出来上がり線を描く。の合印(紫色の印)をつける。

B



裏布

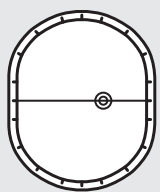
C



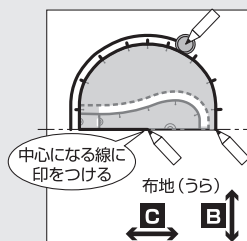
表布・裏布

テンプレートBを使用

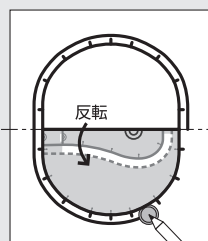
各1枚



※表布には接着芯を貼っておきます



1. テンプレートBの「出来上がり線」に沿って出来上がり線を描く。マチとの合印(紫色の印)をつける。「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。



2. 「[B] [B]」でテンプレートを反転させ、1と同様に印をつける。

B



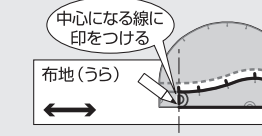
表マチ・裏マチ

テンプレートCを使用

各2枚



※表マチには接着芯を貼っておきます



1. テンプレートCの「マチ出来上り線」に沿って出来上がり線を描く。本体との合印(紫色の印)を「[C] [C] マチわ」の溝に印をつける。

D



表布・裏布

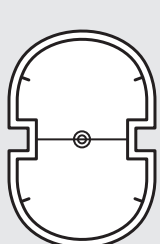
F



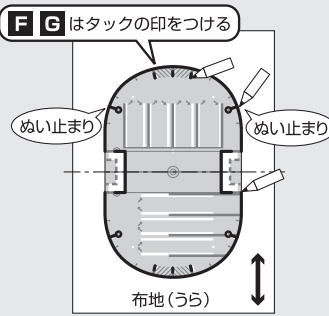
表布

テンプレートAを使用

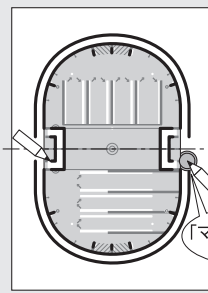
各1枚



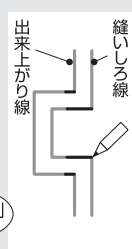
※表布には接着芯を貼っておきます



1. 「[D] [F] [F] マチ出来上がり線」(黄緑色の線)に沿ってマチの出来上がり線を描く。上側、下側の出来上がり線を、テンプレートの線に沿って描く。「ファスナーぬい止まり」に印をつける。



2. 「マチぬいしろ線」(黄緑色の点線)に沿って縫いしろ線を描く。1で描いた出来上がり線に沿って「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。



3. テンプレートはすし、出来上がり線同士、縫いしろ線同士をつなぐ。

E



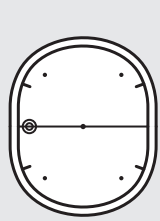
表布

G



裏布

各1枚



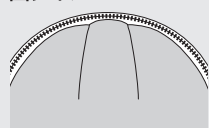
※接着芯を貼っておきます



1. 「[E] [G]」をそれぞれ縫いしろ線に沿って

タックの印の描き方 (お好みで凸・凹どちらかのタイプを選んでください ※ **F** **G** 裏布は凹タイプでつくります)
★タックの印を、布の表面・裏面どちらに描くかで、仕上がりのタックの形が変わります

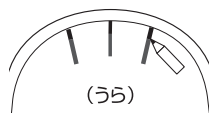
凸タイプ



(うら)

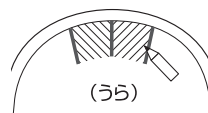


① タックの溝に印をつける。



(うら)

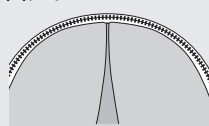
② 印を出来上がり線まで描き足す。



(うら)

③ テンプレートのとおりに斜線を描き込む。

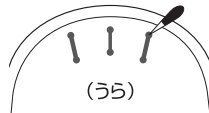
凹タイプ



(うら)

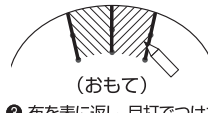


① タックの溝に印をつける。



(うら)

② 印の両端に目打を刺し表面に印をつける。



(おもて)

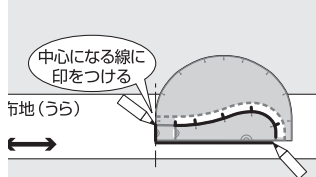
③ 布を表に返し、目打でつけた印をつなぎ、テンプレートのとおりに斜線を描き込む。

1cmの縫いしろが描けます

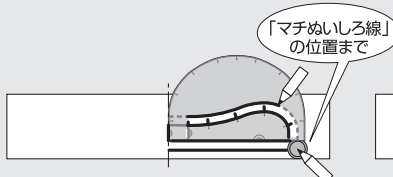
よこ長がワット線

チ・裏マチ

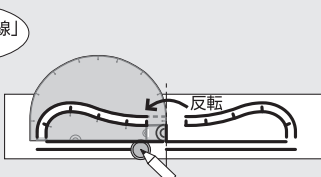
テンプレートBを使用



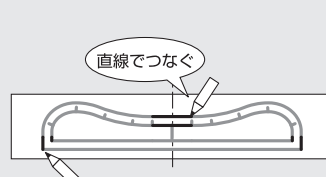
テンプレートBの「マチ出来上がり線」に沿って出来上がり線を描く。本体との合印(紫色の印)をつける。



2. 「マチぬいしろ線」に沿って縫いしろ線を描き、1で描いた出来上がり線に沿って「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。



3. 「A」マチわでテンプレートを反転させ、1、2と同様に印をつける。

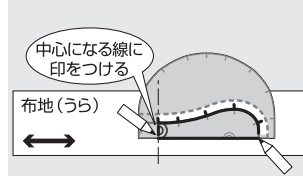


4. テンプレートをはずし、出来上がり線同士、縫いしろ線同士をつなぐ。

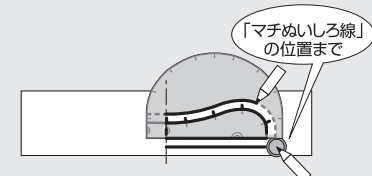


表マチ・裏マチ

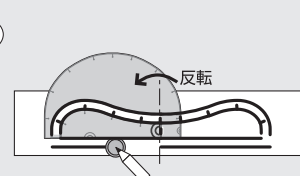
テンプレートBを使用



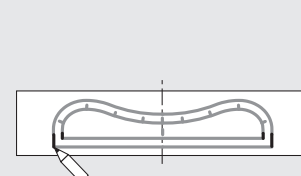
1. テンプレートBの「マチ出来上がり線」に沿って出来上がり線を描く。本体との合印(紫色の印)をつける。「B」マチわの溝に印をつける。



2. 「マチぬいしろ線」に沿って縫いしろ線を描き、1で描いた出来上がり線に沿って「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。



3. 「B」マチわでテンプレートを反転させ、1、2と同様に印をつける。



4. テンプレートをはずし、出来上がり線同士、縫いしろ線同士をつなぐ。

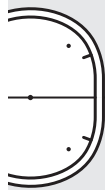


G

裏布

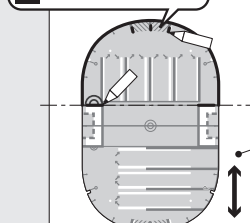
テンプレートAを使用

各1枚

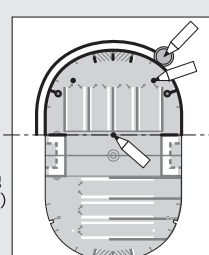


を貼っておきます

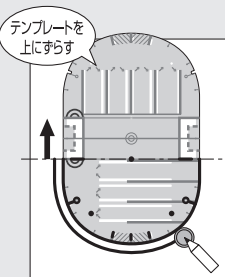
Gはタックの印をつける



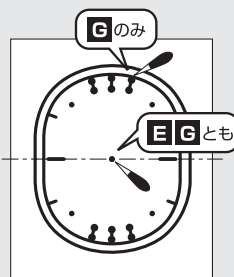
1. 「E」裏布わに印をつける。(右側も同様) それより上側の出来上がり線をテンプレートの線に沿って描く。



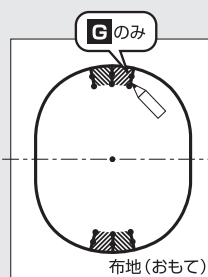
2. 1で描いた出来上がり線に沿って「ぬいしろライナー」で縫いしろ線を描く。「フック釦位置」、「ファスナーぬい止まり」、「E」裏布中心に印をつける。



3. テンプレートをずらし、1で描いた「E」裏布わの線と下側の「E」裏布わの印を合わせる。1、2と同様に出来上がり線と縫いしろ線を描き、フック釦位置、ファスナー縫い止まりの印をつける。



4. タックの印の両端と、「E」裏布中心に目打を刺し、表面に印をつける。



5. 布を表に返し、目打でつけた印をつなぎ、テンプレートのとおりに斜線を描き込む。

STEP 5

A

B

C

の作り方

★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

A

B

ポケットを付ける場合

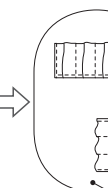
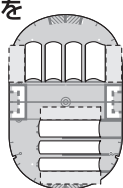
A

B

ポケットを付けない場合

1. ポケットを作る

※Cにはポケットを付けません。



よこ長ポケット
Aのみに付ける事ができます。

たて長ポケット
A・Bに付ける事ができます。

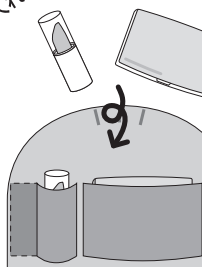
ポケット布の準備
25cm
7.5cm

ポケット布(うら)
7.5cm×25cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。

ポケット布の準備
20cm
11cm

ポケット布(うら)
11cm×20cmの布を用意し上下1cmをアイロンで折る。

入れたいものに合わせて



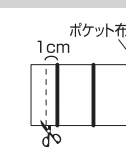
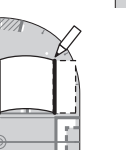
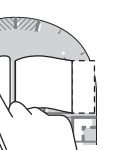
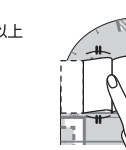
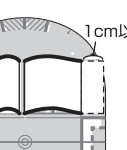
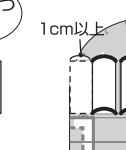
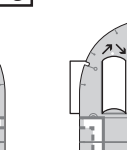
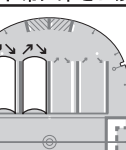
よこ長ポケットの作り方

例

裏布(おもて) ※表布とまちがえないようにしてください。

1 ポケット布に印をつける

ポケット布(おもて)



① テンプレートAの「よこ長ポケット線」の左端の溝の下からポケット布を出し、作りたいポケットの幅に合わせて下向き矢印の溝に入れる。

② 作りたいポケットの数だけ、ポケット布を上向き矢印の溝から出し、下向き矢印の溝に入れる作業を繰り返す。最後は右端の溝に入れる。

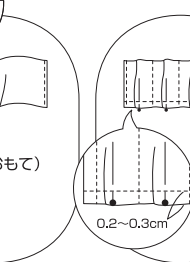
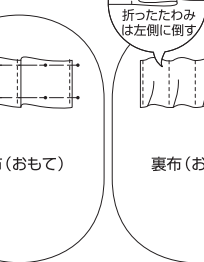
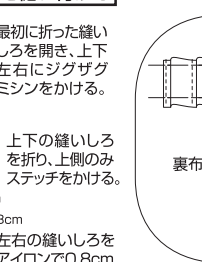
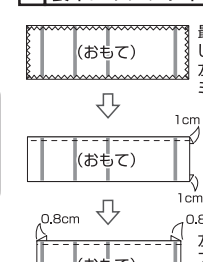
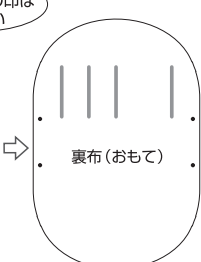
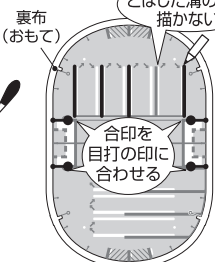
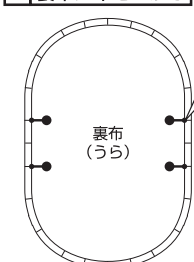
③ 入れたいものの大きさに合わせてたわみを作る。布の両端は縫いしろ分として1cm以上残しておく。

④ ポケットの大きさを決めたら、たわみを右に向けて倒し、上下が同じ幅になるよう整える。

⑤ 「よこ長ポケット線」(オレンジの線)に沿ってポケット線を描く。

⑥ ポケット布をテンプレート両端をポケット線から1cm裁断する。

2 裏布に印をつける



① 合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

② 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線を裏布の表面に描く。

③ 裏布にポケット布を縫い付ける
最初に折った縫いしろを開き、上下左右にジグザグミシンをかける。

④ ポケット布の端を始末する。

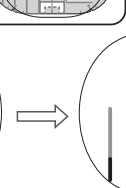
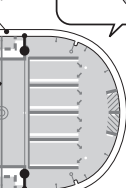
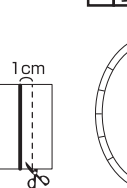
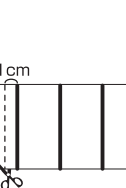
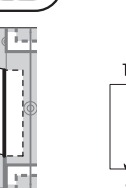
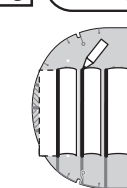
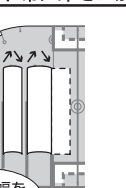
⑤ たわみ部分の待針で止め、ポケット布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

たて長ポケットの作り方

例

1 ポケット布に印をつける

ポケット布(おもて)



① テンプレートAの「たて長ポケット線」の溝に、よこ長ポケットの①～④と同じ手順でポケット布を通す。

② 「たて長ポケット線」の印がある溝に沿って、端から端まで線を描く。

③ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。

④ 合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

⑤ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

3 裏布にポケット布を縫い付ける

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

(おもて)

① ポケット布の端を始末する。

② ポケット布につけたポケット線と、裏布の表面につけたポケット線を合わせて待針で止める。ポケット線を縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

③ たわみ部分の布を折って待針で止める。ポケット布の、裏布から1部分を切り、ポケット底を布端から約0.8cmのところで縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

④ 合印4ヶ所に目打を刺し、裏布の表面に印をつける。

⑤ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

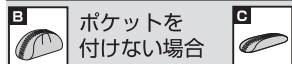
⑥ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

⑦ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

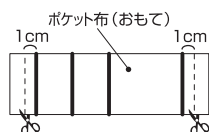
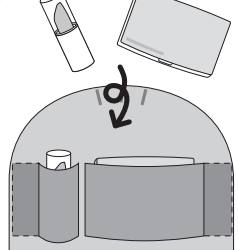
⑧ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

⑨ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。

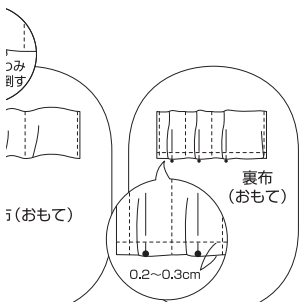
⑩ 裏布を表に返し、目打でつけた印にテンプレートAの合印を合わせて置く。ポケット布につけた線と同じ位置のポケット線「たて長ポケット線」(オレンジ線の部分のみ)に沿って描く。テンプレートをはずした後、布端まで線をつなぐ。



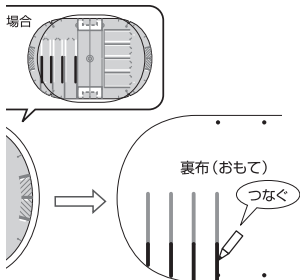
入れたものに合わせて調節



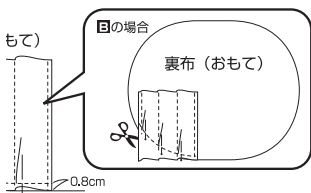
⑥ ポケット布をテンプレートから抜き、両端をポケット線から1cmのところで裁断する。



③ たわみ部分の布を折って待針で止め、ポケット底を縫う。縫い始め・縫い終わりと布の重なった部分は返し縫いをする。

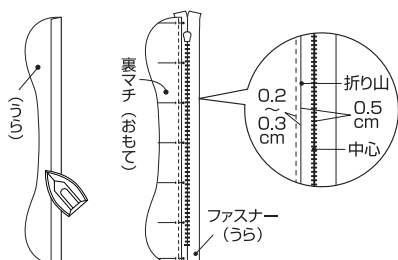


つけた印にテンプレートAの合印を付けた線と同じ位置のポケット線をA線の部分のみに沿って描く。B端まで線をつなぐ。

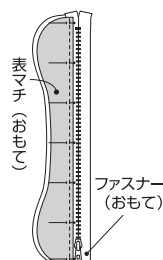


⑦ 縫い始める。ポケット布の、裏布からはみ出た0.8cmのところで縫う。縫い始め・縫い終わりを返し縫いをする。

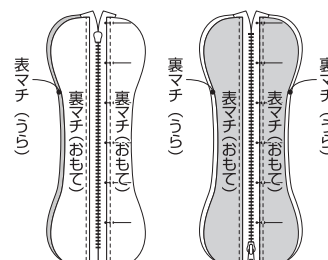
2. マチにファスナーを付ける



① 表マチ・裏マチとも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏マチをファスナーの裏面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)



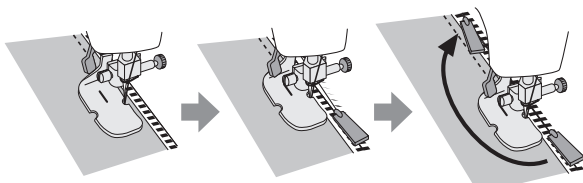
② 表マチをファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)



③ もう一方に、裏マチ・表マチを①②と同様の手順で合わせ、縫う。

基本のファスナーの縫い方

★ファスナー押えがない場合は、普通の押え金をご使用ください。



1. 押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。ファスナーを開けたままミシンで縫う。
2. スライダーの近くまできたら針を落としたまま押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

④ 表布にタックを作る (凸タイプの場合)

※ 凹タイプの場合は4面(裏面)「タックの縫い方」参照



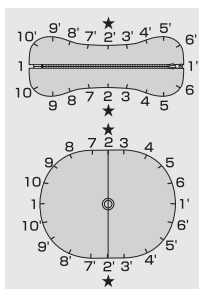
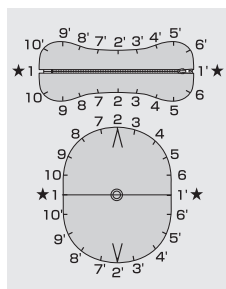
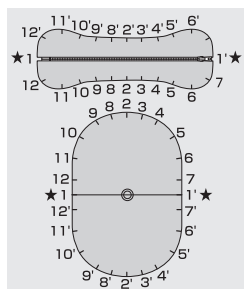
① 斜線がタック分量。a→bへひだをたたみ、待針で仮止める。



② 布端から0.8cmのところで縫う。

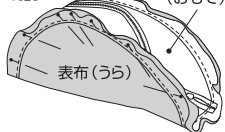
3. 本体を縫い合わせる

合印の合わせ方 同じ番号同士を合わせ、待針で止める。最初にファスナー両脇(1・1')を合わせ、その後片側ずつ2'・2'を合わせる。



★は中心線の両端

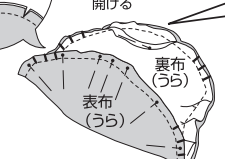
※ファスナーを少し開けて縫う



① 表布と表マチを中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ3枚一緒に、表布側から待針で止める。出来上がり線より0.1~0.2cm外側で縫い合わせる。縫い終わったらファスナーを開ける。



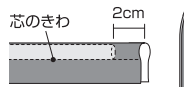
※ファスナーを開ける



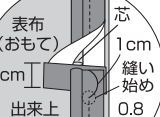
② 裏布と①を中表にし、合印を合わせて表布・表マチ・裏マチ・裏布を、4枚一緒に表布側から待針で止める。

バイピングを付ける場合

芯のきわ 2cm



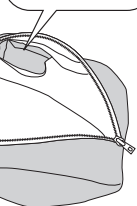
片方の端は、芯が入っていない状態にしておく。



両端のつなぎ目は、芯の入っていない布端を1cm折り、重ねてくるむ。

表布の出来上がり線とバイピングの芯のきわを合わせて、待針で止める。縫い始め(芯が端まで入っている方)は端を1cm残して縫い始める。布端から約0.8cmのところで縫い合わせる。

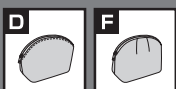
「コの字」とし



④ 返し口から表に返し、返し口をまつて閉じる。

完成

STEP 5



の作り方

★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

1. 表布・裏布にファスナーを付ける

* 下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

D 表布の袋口にステッチがある縫い方です

① 裏布の表面とファスナーの裏面を合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 布を裏返し、縫いしろを①の縫い目で折り返す。

③ 表布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。②に外表で合わせ、表布・ファスナー・裏布を縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ 裏布のもう一方の袋口を①とファスナーに合わせ、縫う。

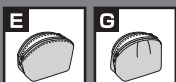
F 表布の袋口にステッチがない縫い方です

① 表布とファスナーを中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。ファスナーの端を、ファスナーの裏側に折る。)

② 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの裏面に合わせ、裏布とファスナーを縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

③ 表布のもう一方の袋口を①とファスナーに合わせ、縫う。

STEP 5



の作り方

★縫い始めと縫い終わりは、返し縫いをしてください

1. 表布・裏布とも、縫いしろにジグザグミシンをかける

2. 表布・裏布にファスナーを付ける

* 下記「基本のファスナーの縫い方」も参照

E 表布の袋口にステッチがある縫い方です

① 表布・裏布とも袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のフック鉤位置に、フック鉤を付ける。

③ 表布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

④ もう一方も③と同様に縫う。

G 表布の袋口にステッチがない縫い方です

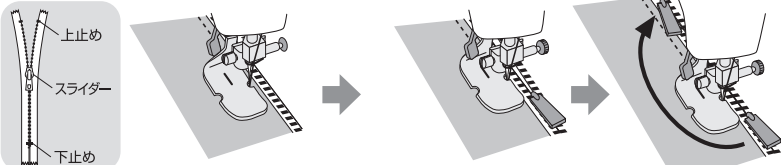
① 裏布の袋口の縫いしろを、アイロンを使い出来上がり線で裏側に折る。裏布をファスナーの表面に合わせ、縫う。(折り山をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

② 裏布のフック鉤位置に、フック鉤を付ける。

③ ②と表布を中表に合わせ、縫う。(出来上がり線をファスナーの中心から0.5cmの位置に合わせる。)

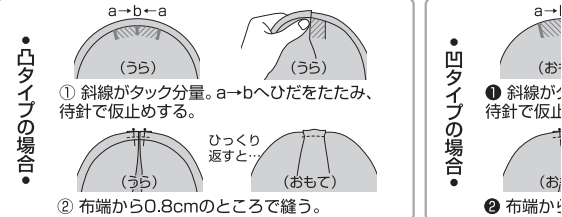
基本のファスナーの縫い方

★ファスナー押さえがない場合は、普通の押さえ金をご使用ください。



1. 押さえ金をファスナー専用のものにつけ替える。ファスナーを開けたままミシンで縫う。
2. スライダーの近くまできたら針を落としたまま押さえ金を上げ、スライダーを針の後ろ側へ動かす。

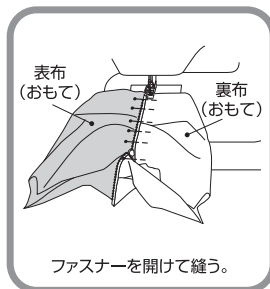
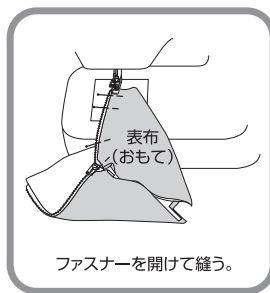
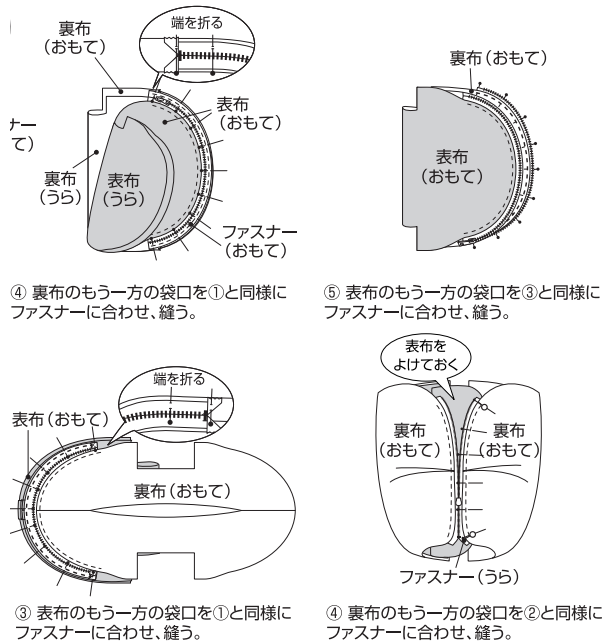
タックの縫い方



フクロー株式会社

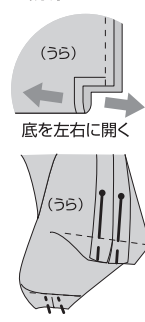
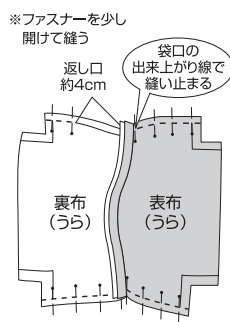
ポーチテンプレート シェル 作り方説明書 4面 / 左

サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の ・ 印と合わせてお使い下さい。



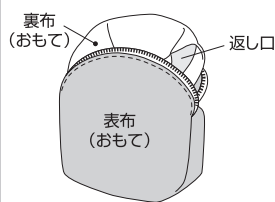
2. 脇とマチを縫う

★回を例に説明しています



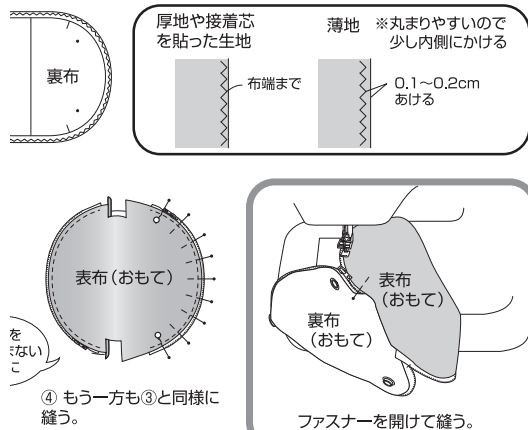
① 中表の状態にし、表布同士・裏布同士で脇を縫う。裏布に返し口を残しておく。

② 表布・裏布ともマチを縫う。



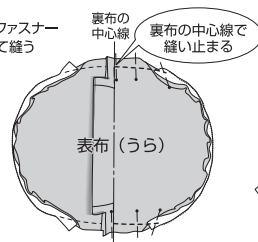
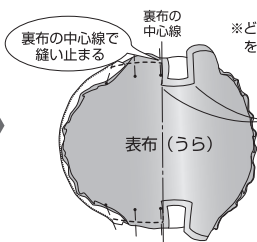
③ 返し口から表に返し、返し口をまっすぐに閉じる。

完成



3. 脇とマチを縫う

★回を例に説明しています



① 中表の状態にし、マチ部分を残して脇を縫う。

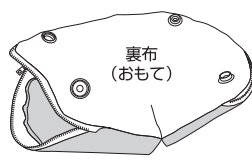
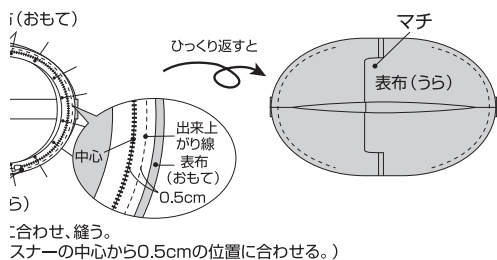
② 反対側も同様に縫う。

③ マチを縫う。

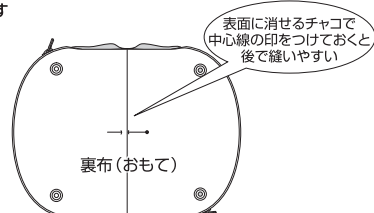


4. 中心を縫う

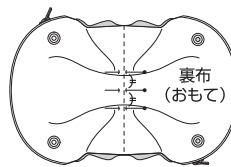
★回を例に説明しています



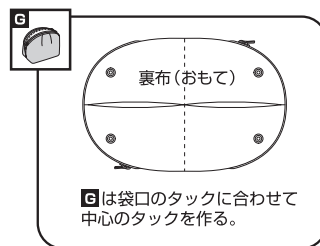
① ファスナー口から表に返す。



② 「回」裏布中心 (目打でつけておいた印) を表布・裏布一緒に待針で止める。



③ 裏布のたわみでタックを作る。中心からの位置が均等になるようにタックをたたみ、待針で止め、中心線を縫う。



完成

